

平成30年1月23日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

電気こんろ、除湿乾燥機に関する事故（リコール対象製品）について
(詳細は次頁以降参照。)

1. ガス機器・石油機器に関する事故 5件
(うち石油給湯機1件、ガスこんろ(都市ガス用)1件、
石油温風暖房機(開放式)1件、ガスこんろ(LPガス用)1件、
開放式ガス瞬間湯沸器(LPガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 4件
(うち凍結防止用ヒーター(水道用)1件、
電気こんろ1件、除湿乾燥機1件、電気ストーブ1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 7件
(うちデジタルフォトフレーム1件、電動アシスト自転車1件、
電気式浴室換気乾燥暖房機1件、
バッテリー(リチウムポリマー)1件、
電動車いす(ハンドル形)1件、コーヒーメーカー1件、
電子レンジ1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件なし

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 富士工業株式会社が製造し、サンウエーブ工業株式会社（現 株式会社LIXIL）が販売した電気こんろについて（管理番号：A201700664）

※組み込み先のキッチンメーカーは不明

① 事故事象について

社員寮で富士工業株式会社（法人番号：8021001013733）が製造し、サンウエーブ工業株式会社（現 株式会社LIXIL）が販売した電気こんろ及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物などが燃えたものと考えられます。

② 再発防止策について

ミニキッチン等に組み込まれた電気こんろで、スイッチ部のつまみが飛び出ている形状のものについては、身体や荷物が知らないうちにつまみに触れ、スイッチが入ってしまい、火災に至る事故が相次いで発生しています。

このため、同社を含む電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社により「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」が設立され、2007年（平成19年）7月3日から新聞社告及び新聞折り込みチラシの配布を行うとともに、各地の消防局に協力要請を行う等、無償改修（スイッチ部のつまみにカバーを付ける）を実施しています（現在11社が継続実施。）。

③ 対象製品

対象製品の機種・型式及び各事業者名、問合せ先等は、別添のとおりです。

【リコール実施状況】

2007年（平成19年）7月3日からリコール（無償改修）を実施

改修対象台数、改修率

一口電気こんろ（今般事故の型式SBE-101-200Vを含む。）

改修対象台数 530, 401台（全社合計）

改修率 96.6%（2017年12月31日時点）

上面操作一口電気こんろ

改修対象台数 60, 969台（全社合計）

改修率 74.8%（2017年12月31日時点）

複数口電気こんろ

改修対象台数 147, 700台（全社合計）

改修率 70.1%（2017年12月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201700664）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2017年度	1	火災	2013年度	2	火災
2016年度	0	—	2012年度	0	—
2015年度	1	火災	2011年度	1	火災
2014年度	4	火災	2010年度	3	火災

<対象製品の外観及び確認方法>

スイッチ部のつまみを御確認ください。



(写真はSBE-101-200V)



改修前：カバー無し



改修後：カバー付き

- 「メーカー名」及び「品番」については、扉の内側やスイッチなどを御確認ください。
- 「品番」が表示されていない場合は、「メーカー名」又は「スイッチ部の形状」を御確認の上、下記問合せ先まで御連絡ください。
- 改修対象の電気コンロは、スイッチ部のつまみが飛び出ているタイプになります。

④使用者への注意喚起

電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのスイッチ部のつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ当該つまみにカバーを付ける改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

使用者の方々及び対象製品を設置するアパート等を所有又は管理されている方々におかれては、事業者が行う訪問改修に御協力いただくようお願いします。

【問合せ先】

富士工業株式会社

電話番号：0120-500-621

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：http://www.fjic.co.jp/recall/gas_k01.html

株式会社LIXIL

電話番号：0120-190-530

受付時間：9時～17時（土・日・祝日、年末年始、夏季休暇を除く。）

ウェブサイト：<http://sunwave.lixil.co.jp/info/11210/index.html>

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会

電話番号：0120-355-915

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.denki-konro.jp/>

（参考）

消費者庁では、2014年（平成26年）6月11日に「お持ちではありませんか？リコールが行われている台所用機器」として、リコールが行われている電気こんろ、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、IH調理器、電気ケトルで火災等が発生した14製品について、リコール対象機種・型式を提示し、発煙・発火のおそれがあるとして注意を呼び掛けています。

ウェブサイト：http://www.caa.go.jp/safety/pdf/140611kouhyou_1.pdf

火災事故防止に向けて 改修のお願い

1977年から2004年までに製造したキッチンユニット等で使用の電気こまろを探しています

身体や物が接触し、意図せずスイッチが「入」となる可能性がある構造であったために、電気こまろの上や周囲に可燃物が置かれていて、火災事故に至る危険性があります。



一口こまろ(前面操作) ※写真は富士工業製



ブランド表示はHITACHIまたは、SUNWAVE

一口こまろ(上面操作)



複数口こまろ(前面操作のみ)

長期間使用されない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

対象製品 スイッチ部外観例



つまみが飛び出している電気こまろが対象です。

改修済み製品 スイッチ部外観例



周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き続きご使用いただけます。

【対象製品】

形式	電気こまろメーカー(現社名)	電気こまろ品番
前面操作一口電気こまろ※1	サンウーブ工業	SBE-101-100V, SBE-101-200V, FHS-31A, FHS-31B
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気工業株式会社)	BHP-111, BHP-121
	パナソニック アプライアンス社 (旧パナソニック松下電器産業株式会社)	NK-1101, NK-1102, NK-2101, NK-2102
	日立アプライアンス	HT-1250, HT-1550, HT-1250T
	ハウステック(旧日立 株式会社日立ハウステック)	HK-1102, HK-2102, HT-1250C
	富士工業	FH-31A, FH-31B (品番表記がなく、100V, 200Vのみを表示している製品もあります。)
上面操作一口電気こまろ※1	サンウーブ工業	CR-1201, CR-1201A, CR-1202, CR-1501, CR-1501A, CR-1501B
	日立アプライアンス	HT-1290, HT-1500
複数口電気こまろ※2	サンウーブ工業	SBE-2G, SBE-3G, SBE-3T
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気工業株式会社)	HP-2000, HP-2000J, HP-2000T, HP-3000, UHP-S36A, UHP-S36AT, BHP-361T, BHP-365, BHP-461, BHP-461N, BHP-461W
	パナソニック アプライアンス社 (旧パナソニック松下電器産業株式会社)	NK-2220, NK-2251, NK-2252, NK-2308, HNT-2200 (※2), NK-2201, NK-2202, NK-2203, NK-2301, NK-2302, NK-2303, NK-2204, NK-2204CM, NK-2204M, NK-2304, NK-2305, NK-2307
	日立アプライアンス	HT-3000G, HT-3010G, HT-3310, HT-3510, HT-3511A, HT-4510, HT-D3451, HT-D4451, HT-D4451SS
	富士工業	FH-62, FH-621, FH-63, NSH-621, SBA-201, SBA-211, SBA-211A, SBA-301, SBA-311, SBA-311L

※1. 小形キッチンユニット(冷蔵庫付きタイプ・扉仕様タイプ等もあります)に組み込まれています ※2. 据置き型・ビルトイン型があります ※3. ブランド名はHESC

上記電気こまろは、下記協議会加盟キッチンユニットメーカー他のキッチンまたはキッチンテーブル等に組み込まれている場合があります。

【小形キッチンユニット用電気こまろ協議会加盟キッチンユニットメーカー(五十音順)】

クリナップ株式会社、三協立山株式会社、タカラスタンダード株式会社、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

【小形キッチンユニット用電気こまろ協議会加盟会社名・お問い合わせ先(五十音順)】

誠に申し訳ありませんが電気こまろのスイッチを無償で改修いたしますので、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

クリナップ株式会社 0120-126-174 http://cleanup.jp/	三協立山株式会社 (旧社名 三協立山アルミ株式会社) 0120-202-436 http://www.st-grp.co.jp/	タカラスタンダード株式会社 0120-200-805 http://www.takara-standard.co.jp/
東芝ライフスタイル株式会社 (旧東芝電気工業株式会社) 0120-668-401 http://www.toshiba.co.jp/tha/	株式会社ハウステック (旧日立 株式会社日立ハウステック) 0120-524-852 http://www.housetec.co.jp/	パナソニック株式会社 アプライアンス社 (旧パナソニック松下電器産業株式会社) 0120-391-391 http://panasonic.co.jp/
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 (旧パナソニック松下電器産業株式会社) 0120-116-484 http://panasonic-denko.co.jp/	日立アプライアンス株式会社 0120-256-557 http://www.hitachi-ap.co.jp/	富士工業株式会社 0120-500-621 http://www.fjic.co.jp/
三菱電機株式会社 0120-099-506 http://www.mitsubishielectric.co.jp/	株式会社 LIXIL (旧社名 サンウーブ工業株式会社) 0120-190-530 http://www.sunwave.co.jp/	

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの個人情報は、当該製品の点検と改修目的以外には使用いたしません。

小形キッチンユニット用電気こまろ協議会 0120-355-915 メールアドレス dkk.jimu@denki-konro.jp

<http://www.denki-konro.jp/>



総務省消防庁・東京消防庁・経済産業省の各ホームページにも掲載され、注意喚起並びに改修を促進しています。

総務省消防庁 <http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi1908/pdf/190824yo307.pdf>

東京消防庁 <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/topics/200910/kitchen.html>

経済産業省 http://www.meti.go.jp/product_safety/recall/file/chuui_kanki/denkikonro.htm

(2) 象印マホービン株式会社が製造した除湿乾燥機について（管理番号：A201700669）

① 事故事象について

象印マホービン株式会社（法人番号：5120001059655）が製造した除湿乾燥機を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコール（製品回収・返金）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、製造工程でのサブファンモーター及び温度ヒューズの組付作業の不具合によりヒーターが過熱し、発煙・発火の可能性があることから、事故の再発防止を図るため、2001年（平成13年）1月12日にウェブサイトへの情報掲載及び新聞社告を行うとともに、ダイレクトメールの送付、販売店及び宅配事業者を通じたチラシ配布を継続的に行うなど、対象製品について無償点検及び修理を行っておりましたが、2014年（平成26年）1月21日以降は製品回収及び返金を実施しております。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201700669）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③ 対象製品：型名、製造番号、製造期間、対象台数

型名	製造番号	製造期間	対象台数
PJ-AN60型	0700328～0700516	2000年3月～2000年5月	8,761

2001年（平成13年）1月12日からリコール（無償点検・改修）を実施

2014年（平成26年）1月21日以降は製品回収及び返金を実施

改修率：62.9%（2018年1月20日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201700669）発生以前の対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたもの）の件数は、本件のみです。

<対象製品の的外観及び確認方法>

製品の左側側面に記載されている製造番号を御確認ください。



製造 番号	0700328
品名 型名	除湿乾燥機 PJ-AN60 型
温度ヒューズ	172℃
100V 50/60 Hz 570/580 W	
象印マホービン株式会社	

製造番号をご確認ください。

(製品の左側側面に記載)

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う製品回収及び返金に応じていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

象印マホービン株式会社

電話番号：0120-345-160

※携帯電話及びPHSからも御利用できます。

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・事業者休業日を除く。）

ウェブサイト：https://www.zojirushi.co.jp/toiwase/announce/pjan_kinkoku.html

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担当：柳川、平野、清重

電話：03-3507-9204（直通）

FAX：03-3507-9290

経済産業省産業保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当：橋爪、高橋

電話：03-3501-1707（直通）

FAX：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201700666	平成29年12月20日	平成30年1月18日	石油給湯機	OQB-3000Y	株式会社ノーリツ	火災	当該製品のスイッチを入れたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	山口県	製造から25年以上経過した製品 事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年1月9日
A201700667	平成29年12月7日	平成30年1月18日	ガスこんろ(都市ガス用)	不明	株式会社パロマ	火災	建物2棟を全焼し、2棟を部分焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	富山県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年1月12日
A201700668	平成29年12月28日	平成30年1月18日	石油温風暖房機(開放式)	FW-452L	ダイニチ工業株式会社	火災	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	愛知県	
A201700676	平成30年1月3日	平成30年1月19日	ガスこんろ(LPガス用)	PA-N39P	株式会社パロマ	火災	当該製品を使用中、建物2棟を全焼し、1棟を部分焼する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	北海道	平成30年1月18日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201700677	平成30年1月12日	平成30年1月19日	開放式ガス瞬間湯沸器(LPガス用)	PH-5号F	パロマ工業株式会社(現 株式会社パロマ)	CO中毒(疑い)死亡1名	当該製品を使用中、一酸化炭素中毒の疑いにより1名が死亡した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	千葉県	製造から40年以上経過した製品 平成30年1月19日に経済産業省産業保安グループにて公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201700663	平成29年12月31日	平成30年1月18日	凍結防止用ヒーター(水道用)	SHP-2(日本電熱株式会社ブランド)	株式会社小口製作所(日本電熱株式会社ブランド)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	福島県	
A201700664	平成29年12月27日	平成30年1月18日	電気こんろ	SBE-101-200V(組み込み先のキッチンメーカーは不明)(サンウエーブ工業株式会社ブランド)	富士工業株式会社(サンウエーブ工業株式会社ブランド)	火災	社員寮で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故の原因は、現在、調査中であるが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物などが燃えたものと考えられる。	岐阜県	製造から20年以上経過した製品 平成19年7月3日から事業者が共同してリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:96.6%(一口電気こんろ合計)
A201700669	平成30年1月2日	平成30年1月19日	除湿乾燥機	PJ-AN60型	象印マホービン株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	兵庫県	平成13年1月12日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:62.9%
A201700670	平成30年1月8日	平成30年1月19日	電気ストーブ	DS-803	松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	神奈川県	製造から30年以上経過した製品

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201700665	平成30年1月3日	平成30年1月18日	デジタルフォトフレーム	火災 死亡1名	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
A201700671	平成30年1月1日	平成30年1月19日	電動アシスト自転車	火災	当該製品のバッテリーを充電中、当該製品の充電器を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	平成30年1月12日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201700672	平成30年1月1日	平成30年1月19日	電気式浴室換気乾燥暖房機	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	製造から15年以上経過した製品 平成30年1月18日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201700673	平成30年1月10日	平成30年1月19日	バッテリー(リチウムポリマー)	火災	集配所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の仕分作業時の状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
A201700674	平成30年1月12日	平成30年1月19日	電動車いす(ハンドル形)	死亡1名	使用者(90歳代)が当該製品に乗車中、踏切内で列車にはねられ死亡した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	
A201700675	平成30年1月5日	平成30年1月19日	コーヒーメーカー	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	広島県	電子レンジに関する事故(A201700678)と同一
A201700678	平成30年1月5日	平成30年1月19日	電子レンジ	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	広島県	コーヒーメーカーに関する事故(A201700675)と同一

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件なし

凍結防止用ヒーター（水道用）（管理番号：A201700663）



電気ストーブ（管理番号：A201700670）

